

平成28年度第4回長崎市議会定例会
一般質問（要旨）

1、合併の検証と周知について

【質問】

本年3月にまとめられた「合併の検証」について、合併地区住民に対しての周知はどのように行われたのか。

【回答】

検証結果を各行政センターに配布、ホームページに掲載し周知を図った。また、合併地区の皆様には、直接、目を通していただくため、各行政センターの閲覧コーナーに備え付けを行った。今後は、合併地区の連合自治会長等に対して、丁寧の説明を行っていききたい。

2、観光行政について

（1）熊本地震による本市への影響

【質問】

本年4月の熊本地震において、本市においても観光の面で大きな影響を受けたと思うが、観光客の動向、また、観光施設も含めた4月から8月にかけて、前年度と比べてどのような変化があったのか。また、修学旅行にも大きな影響があったと思うが、今後の予約状況はどうなっているのか。

【回答】

市内の主要観光施設の入場者数及び一般観光客の宿泊については、7月か

ら徐々に回復傾向にある。

一方、修学旅行については、今年度においては、熊本地震の影響が出ている。来年度においては、現在のところ地震は発生時までの回復は見込めず、影響が残る状況である。今後は、宿泊施設協議会など関係団体と連携を図り、閑散期の助成制度について検討を行いたい。

（2）長崎市亀山社中記念館の現状と課題及び今後の取組み

【質問】

長崎市亀山社中記念館の現状と課題、今後の取組みを伺いたい。また、民間所有者から建物をお借りして市が運営しているが、借用期間も迫ってきていると思うが今後の対策はどうなっているのか。

【回答】

車が横付けできない、近隣に路地が存在することなど、分かりやすい案内の徹底を図っていく必要がある。今後は案内板や誘導板の充実や、ホームページ等での分かりやすい説明に努める。来年は坂本龍馬没後150周年を迎え、企画展を開催し、満足度向上に努めたい。

また、当館の借用期限が2年余りという状況であり、今後は所有者の意向を十分確認し、誠心誠意協議を行っていききたい。

3、交通政策について

（1）乗り合いタクシーの現状と今後の課題

【質問】

現在5地区で運行をしているが、時間帯によっては定員オーバーで乗れないとの問題があることも現状である。市として乗り合いタクシーの現状と課題についてどう考えているか。

【回答】

地域の皆様の利便性向上を図るため、日常生活における移動手段を確保する必要があることから、引き続き沿線自治会に対し利用を呼びかけ、利用実態に即した運行内容へ見直すなど、その維持に努めていきたい。

（2）路面電車脱線の全面運転再開に向けた取り組み

【質問】

再び脱線事故が発生し、市民の足に大きな影響が出ているが、全面復旧に向けた対策として、市としてどのように関わっているのか。また、沿線住民への周知はどのようにしているのか。

【回答】

市としては、運行事業者に原因究明と再発防止並びに市民への情報提供と信頼回復に取り組んでいただくよう要請するとともに、運行事業者と連携を密にし状況把握に努めている。

今後は、全面運行再開の見通しがたっていない状況の中、沿線自治会への周知など必要な情報提供に努めていきたい。

4、平和の泉について

【質問】

建設してもうすぐ50年、改修してからも31年が経過するが、現在の平和の泉の現状をどのように把握しているのか。

また、被爆75周年までに改修するつもりはないか。

【回答】

現状として一定老朽化が進んでいると認識している。平和公園全体で他にも補修が必要な施設があるので、これらの整備と併せ改修を行いたい。被爆75周年を目標にし、それまでには改修できるよう努力したい。

5、そとめ神浦川河川公園について

【質問】

平成2年から整備を開始した神浦川河川公園は、今では多くの家族連れで賑わっている。大変整備されていることは承知しているが、まだ整備・改良の余地はあると考えるが、今後、整備を行う考えはないか。

【回答】

今後、整備の参考とするため、駐車場を含め周辺への影響状況や改善点を

把握するためのアンケートを、利用者や周辺自治会へ実施し、利用者の方々に喜んでいただけるような公園の環境整備に努めていきたい。